

# 事務事業評価(事前評価)シート【令和5年度】

主管課(担当名)	水産研究所(水産研究所担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	海面養殖技術開発事業	事業番号	13011

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-02	沿岸漁業の振興
	施策目標	持続可能で魅力ある沿岸漁業を展開するまち	

## 2 事務事業の目的

目的	ロシア水域におけるサケ・マス流し網漁業が、平成28年1月から禁止されたことから、影響を受ける地域の漁業従事者等の雇用の創出や漁業生産の維持増大を目指し、ベニザケ養殖技術の確立を目指すため、養殖技術開発試験を実施するほか、新たにトラウトサーモンの海面養殖技術開発試験を実施する。
成果	沿岸漁業の振興を図るため、ベニザケの陸上養殖やトラウトサーモンの海面養殖技術開発を実施し、養殖事業化の実現を図る。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5	ベニザケ養殖協議会養殖技術開発負担金						
	R6	ベニザケ養殖協議会養殖技術開発負担金						
		(単位:千円)	R2	R3	R4	R5	R6	総事業費
事業費と内訳	事業費				25,000	15,000	40,000	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		ふるさと関連基金				25,000	15,000	40,000
		その他						
	一般財源							
人員(人工)				0.83	0.83	1.66		
職員費(人員×7,455千円)				6,188	6,188	12,376		
総事業費				31,188	21,188	52,376		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R4)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	養殖生産尾数	-	-	5,000尾

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

令和元年より、ベニザケ養殖の事業化に向けた養殖実証試験を海面において3か年、陸上で1年間実施してきたが、その育成の難しさから、将来的に地場産業化となる際には、長く継続した挑戦となることが予想されるため、令和5年から新たに、国内でも養殖実績のある海面での「トラウトサーモン養殖」の早期事業化に向けた実証試験にも着手する。

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	サーモン養殖漁業の新規確立、新規雇用の確保、水産加工原料の確保
-------------------	---------------------------------

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 沿岸漁業は漁家経営の安定と共に市内経済にも影響するため市民ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 北洋サケ・マス漁業の禁漁を受けた対策の一環として実施するもので、市が実施する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 北洋サケ・マス漁業禁止対策であり緊急性がある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 他に代替となる手段がなく妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 各漁業協同組合の負担割合等について、ベニザケ養殖協議会で協議しており、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 本事業の有効性がある。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、沿岸漁業の振興を図るため、養殖事業化の実現に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 速やかかつ円滑な事業推進を図りたい。

作成年月

令和5年7月